

職務経歴書

2026年 月 日現在

氏名：楊 際舟 (YANG JIZHOU)

ポートフォリオ：www.harukayang.com / GitHub：github.com/YANG-Haruka / LinkedIn：linkedin.com/in/yang-haruka

■ 職務要約

応用AIエンジニアとして約4年、研究プロトタイプから顧客が継続利用する実運用システムまで一貫して担当してきました。現職Corpy & Co.株式会社では、日系自動車メーカー向けEnd-to-End自動運転プロジェクトの全体アーキテクチャを主導し、モデル学習の一部、データ前後処理、PythonからC++へのデータ転送、FlatBuffers導入、最終推論形式の変換、週次納品を担当しています。チーム（4名→7名）のプロジェクトリーダーとして開発と調整を進める一方、人物Re-IDではCross-team / Cross-projectの初期R&Dに参加しました。業務外でも実在レストラン向けSaaSやOCR・RAGを単独で運用しています。

■ 職務経歴（逆編年体）

Corpy & Co.株式会社（東京） | 2024年5月 ~ 現在

事業内容	AIの品質保証・実装支援（AIスタートアップ）
プロジェクト	日系自動車メーカー向け End-to-End自動運転システム（研究段階から実車運用まで、2026年9月まで継続予定）
規模・役割	チーム4~7名 エンジニア → プロジェクトリーダー（全体設計・モデル/データ統合・納品・チームマネジメント）
担当フェーズ	要件定義／基本・詳細設計／実装／テスト／実車検証／運用・保守（週次納品）
技術	C++・Python・PyTorch・FlatBuffers・言語間データ転送・データ前処理/後処理・Docker・GitLab CI・Linux/WSL
実績	- システム全体のアーキテクチャを主導し、研究プロトタイプから実車リアルタイム動作まで統合。 - 一部モデル学習に参加し、データ前処理・後処理の流れを設計・実装。 - Pythonモデル側からC++実行側への言語間データ転送を解決し、FlatBuffers導入と転送経路の最適化により交換コストを削減。 - 最終推論段階の形式変換を最適化し、C++側の後続処理・表示に適した構造で出力。推論最適化にも参加し、主要指標を維持したまま推論速度を約70%改善。 - プロジェクトリーダーとして要件整理・技術文書・モジュール調整・週次リリースを担当——モジュールオーナー制でチーム効率を約50%改善（5名分の業務を3名で遂行）。

同社Cross-team / Cross-project：車載魚眼カメラ人物Re-ID（2026年・初期R&D）

目的	魚眼カメラ人物Re-IDに向けた前段検出方式の初期研究
担当	人物セグメンテーションとB-box検出の2方式を比較し、各方式の適用可能性を検証
技術	Python・PyTorch・人物セグメンテーション・B-box検出・人物Re-ID
実績	Cross-team / Cross-projectの前期R&Dとして調査・比較結果を整理し、後続検討へ共有。

AMIT株式会社 | 2022年4月 ~ 2024年4月（2022.4 インターン・2023.4 正社員）

プロジェクト	術前CTと術中超音波を融合した手術ナビゲーション／ロボット支援肝アブレーション（早稲田大学との共同研究）
役割	医療AI・ロボティクスエンジニア（アーム運動学・座標変換モジュールを単独担当）
技術	PyTorch・医用画像セグメンテーション・ONNX・TensorRT・ROS 2・CT／超音波・画像位置合わせ
実績	- 超音波画像空間・患者空間・アーム基準系の多空間座標変換とROS 2自動追従制御を単独設計・実装。ファントム及び臨床試験で検証。 - 医師in-the-loopの半自動アノテーション（約7,000~8,000枚）と医用画像セグメンテーション（IoU約0.89）を実装し、手作業を大幅削減。 - ONNX／TensorRTによるモデル変換・推論高速化——RTX 2060上で約70%高速化、認識性能を維持。

■ 個人開発（業務外・運用中）

- EXA Restaurant**（2026）：マルチテナント飲食店運営SaaS。川崎の実在レストランが毎日利用（スタッフ11名：打刻・シフト・給与明細配布）、AWS上で稼働。「A店のデータはB店から見えない」を、各クエリで絞り込みを書き忘れないことに頼らず、データベース自身に守らせています——65テーブル・256の行レベルセキュリティポリシーを、CIが毎回コードから再構築し実Postgresに対して照合。API/Web/モバイルに跨る877の自動テストに加え、リリース前にインスタンスをゼロから再生成し、それ自身の検査を通すまで出荷しません。複製もリプレイもできない暗号NFC打刻（NTAG 424 DNA）も実装。単独開発・運用。

- **LinguaHaru** (2025)：オープンソースAI翻訳ツール。16+形式の文書を体裁維持のまま一括翻訳、OCR・漫画モード搭載。GitHub 270+ スター。
- **HaruYukaFlow** (2025)：越境転売業務のOCR在庫・通関自動化。「LLMは読むだけ、照合はコード」の原則で3モデルフォールバック+算術クロスチェック、Playwrightで11のECサイトを自動操作。要件定義から納品・保守まで単独で顧客対応（デモ公開中）。
- **個人サイト (harukayang.com)** + **HaruAccompany** (2025-2026)：自作ポートフォリオサイトと、そこで動くAIチャット。AWS上のサーバーレス構成（CloudFront+S3で配信、Lambdaでリクエスト処理、DynamoDBでデータ保持）をCDKでコード管理し、サーバーの常時起動なしで運用。バックエンドは外部ライブラリ非依存のNode.js。チャットは自分の経歴・プロジェクト情報を検索して答えるRAGで、返答は生成しながら1文字ずつ届くストリーミング表示。予算アラートと異常検知で費用上限も設定。

■ ハッカソン

- **Gemini Gym** (Google Cloud / Gemini AI Agent Hackathon 東京 2026・チーム)：バックエンド&ショーケース担当。決定論エンジンのJS→Python移植（出力差分ゼロ）、Google ADK経由でGemini 2.5 Flash接続（Vertex AI）、オフラインでも動くデモ設計。
- **FASHINI** (DevOps × AI Agent Hackathon 2026・チームStyleAI・審査中)：バックエンド開発担当。ジェスチャー／音声で動くAIスタイリストエージェント、Google Cloud Runで公開中。

■ 活かせる経験・知識・技術

AIネイティブ開発	エージェントックコーディング（Claude Code・Codex）・短期技術調査・画像/動画生成・AIスライド→動画のデモ制作。SOTA調査から顧客向けデモまで数日で一気通貫
言語	Python（4年）・TypeScript（2年）・C++（3年）・SQL・Dart
AI／ML／ロボティクス	PyTorch・End-to-End自動運転・画像認識（検出／セグメンテーション／追跡／人物Re-ID）・モデル最適化とデプロイ（ONNX／TensorRT）・RAG・LLMエージェント・評価設計・OCR／音声・ROS 2・OpenGL・CUDA
LLMOps／MLOps	マルチベンダのモデルルーティングと設定駆動フォールバック・適応的レート制御・コード側で検証する構造化出力・密ベクトル+BM25ハイブリッド検索と再ランキング・人手基準セットでのモデル／プロンプトA-B評価・推論とデータ運用（マルチモデル配信・人間介在アノテーション・本番品質監査）
バックエンド	FastAPI・PostgreSQL（マルチテナント行レベルセキュリティ）・SQLAlchemy／Alembic・SQLite・Node.js・OpenAPI契約駆動
フロント／モバイル	React・TypeScript・Vite・Flutter
クラウド／運用	AWS（Lambda・DynamoDB・S3・CloudFront・CDK）・GCP（Vertex AI／Cloud Run）・Docker・Fly.io・CI/CD（GitHub Actions／GitLab CI）・Linux
マネジメント	プロジェクトリード（4～7名）・顧客折衝・週次納品運用・技術文書作成

■ 学歴

- 電気通信大学大学院 情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 修士課程 修了（2021年4月～2023年3月）
- 電子科技大学（中国・成都） 機械設計製造及びその自動化専攻 卒業（2015年9月～2019年6月）

■ 資格・語学

- 中国語（母語）・英語（ビジネスレベル）・日本語（日常会話、ビジネスレベルを目標に学習中）
- 在留資格：高度専門職1号（永住許可申請中）

■ 自己PR

強みは、曖昧な顧客課題を技術仕様へ落とし、AIモデルだけでなくデータ、ランタイム、検証、納品、運用まで一つのシステムとして完成させる力です。現行の自動運転プロジェクトでは全体アーキテクチャを主導し、モデル学習の一部、データ前後処理、PythonからC++へのデータ転送、FlatBuffersによる最適化、最終推論形式の変換まで担当しました。人物Re-IDはCross-team／Cross-projectの初期R&Dとして、人物分割とB-box検出の比較研究に参加しました。業務外でも実在店舗向けSaaS、OCR業務システム、ハイブリッドRAGを設計・運用しています。今後は応用AI／AIプロダクト／FDEの立場で、顧客価値と信頼できる実装をつなぎたいと考えています。

以上